

3-11 大学情報化職員研修会

本研修会は、職員が担当部署で情報技術を活用して教育支援に積極的に関与し得るよう、日常業務の情報化や、意思決定支援のための情報システムの構築と活用等について討議や事例研究を行い、職員一人一人の情報活用能力の向上を図ることを目的として開催するものである。本研修会の企画・実施・運営にあたっては、研修運営委員会にて対応した。

(1) 開催要項の決定と実施準備

本研修会は、大学の教育改善を実現するために職員の果たすべき役割について、各参加者が担当業務を越えて全学的な視野で討議することを目的としているため、討議の中心テーマとして「大学の事務情報統合化」、「教育の情報化支援」、「経営に関する意思決定支援」、「インターネットと情報共有」を設け、その中に業務別の分科会と業務横断的な分科会を設定した。討議は、部署間の連携を意識し、より広い視野で自己の業務と教育支援の関わりについて考え、行動できるよう運営に工夫することとした。

平成14年度大学情報化職員研修会開催要項

A日程 平成14年9月18日(水)～12日(金)

B日程 平成14年9月25日(水)～27日(金)

I. 研修目的・テーマ

この研修会は、職員が担当部署で情報技術を活用して教育支援に積極的に関与し得るよう、日常業務の情報化をはじめ意思決定支援のための情報システムの構築と活用などについて、職員一人一人の情報活用能力の向上を図ることを目的として開催するものです。

研修は4つの大きな基本テーマ「大学の事務情報統合化」、「教育の情報化支援」、「経営に関する意志決定支援」、「インターネットと情報共有」に基づき学内事務システムの様々な切り口からグループを設定し、情報化のための環境作り、運用・効果、体制等に関する問題全般について、グループ内の参加者相互によるシステムの事例紹介、討議をもとに理解を深めます。

よって、単なるIT化について情報交換するものでなく、「共生と競争の時代」を迎えるこれからの大学の中で職員各自が「情報」を活用し、大学に寄与することを、参加する多くの大学の職員とともに考える場としたいと考えています。

研修会テーマ：「大学の変革期における事務情報化の目指すもの」

II. 研修内容

学内の基幹業務あるいは業務を横断するテーマについて、討議と事例研究を行い、問題解決の方法について理解します。また必要に応じて専門家・経験者を招いて講演を聴き質疑応答・意見交換等を行います。

A日程（6グループ） 9月18日（水）～20日（金）

①大学の事務情報統合化

- ・学生基本情報の構築（入学選抜から校友会まで）

A-1 入学業務

A-2 学生基本情報管理

- ・カリキュラム改革と履修支援

A-3 履修登録と成績管理業務

A-4 カリキュラム・時間割管理とシラバスデータベース

- ・学生生活支援（奨学金・保健管理・厚生補導）

A-5 奨学金管理業務

- ・就職支援（キャリア支援）

A-6 就職支援

B日程（6グループ） 9月25日（水）～27日（金）

②教育の情報化支援

- ・学術情報サービス

B-7 学術情報サービス

③経営に関する意志決定支援

- ・経営に関する意思決定支援（財務・会計・人事・給与）

B-8 経理・会計

B-9 人事・給与

B-10 学園の戦略情報化計画

④インターネットと情報共有

- ・ITを利用した業務の効率化と学内広報

B-11 グループウェアを利用した業務改革

- ・戦略としてのweb広報

B-12 ホームページを利用した情報公開と情報共有

基調講演

講師：井原 徹 氏（早稲田大学理事）

講演テーマ：大学の変革期における事務情報化の目指すもの（私立大学経営の実践的側面）

コンピュータを中核とするIT革命の波が大学にも押し寄せ、書類作成・送達、意思（情報）の伝達・発表、計算・データ処理等のあらゆる面におい

て、まさに「事務」は革命的变化をもたらしている。また、そのことに伴う「サービス」も様相を変えてきている。

そうした中で「業務管理」「意思決定」「組織編成」においてどのような方向性を模索したら良いかを中心に、次の視点からこれからの大学を担う職員へ向けて講演を行うものである。

Ⅲ. 研修方法、研修期間

各日程とも、2泊3日の合宿研修です。

A日程：平成14年9月18日（水）～20日（金）

B日程：平成14年9月25日（水）～27日（金）

Ⅳ. 参加資格

加盟大学職員：当協会加盟大学・短期大学の職員で、大学業務の情報化に携わる方。グループのテーマに関心がある方で、積極的に意見交換できる方。

賛助会員：本研修会の開催内容に関連する当協会賛助会員企業の方で、討議に積極的に参加の上、関連情報の提供などにより参加グループの討議促進に貢献できる方。

(2) 開催結果と次年度開催計画の検討

参加者は116大学、3短期大学、賛助会員6社の総勢312名であった。各分科会の概要等、開催結果の詳細については、資料編【資料12. 研修会関係資料】を参照されたい。

本年度は、情報技術紹介として、賛助会員6社によるプレゼンテーションを行った。各社より、統合情報事務システム、教材オーサリングシステム、ICカードシステム等が展示され、学生支援、教育支援の視点からその活用法について解説があった。

次年度は、ITの教育利用が全学的な課題となっていることから、情報センター等部門研修会単独での開催を取り止め、本研修会へ組み入れることとしている。そこで、教育支援や情報化推進体制の問題など、より業務横断的なテーマが増えることから、できるだけ重複を避けた分科会とするよう企画中である。